

2020年3月期 第1四半期

決算説明会資料

株式会社 F U J I



# 目次

- 会社概要
- 第1四半期決算の概要
- 2020年3月期 業績予想

# 会社概要

# 会社情報

(2019年3月現在)

設立	1959年4月7日
資本金	58.78億円
従業員数	2,449人
売上高	1,291億円
営業利益	231億円
経常利益	234億円
主要製品	電子部品実装ロボット 工作機械



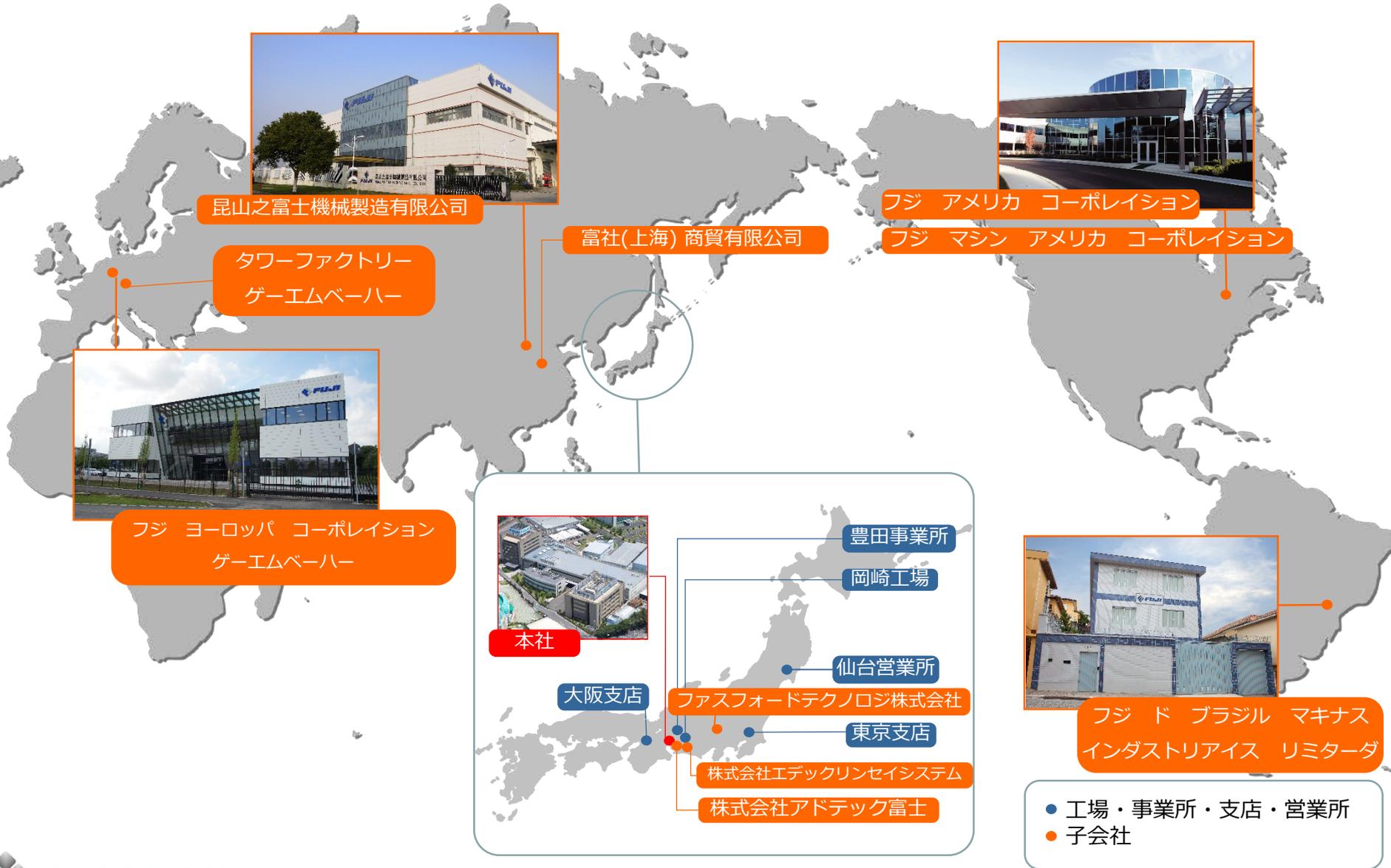
本社外観（愛知県知立市）

海外拠点： アメリカ、ドイツ、中国、ブラジル他

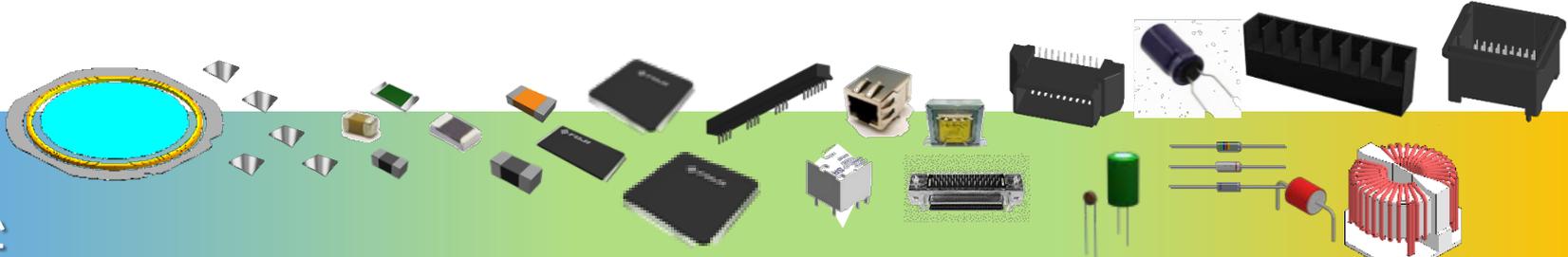
# 主な沿革

1959年	名古屋市中川区昭和橋において富士機械製造株式会社を設立
1970年	米国現地法人フジ アメリカ コーポレーション設立（現連結子会社）
1971年	NC自動旋盤完成
1978年	電子部品自動挿入機 BA完成
2003年	モジュール型高速多機能装着機 NXT完成
2010年	超高密度 大気圧プラズマユニット Tough Plasma完成
2013年	東京証券取引所市場第一部上場
	モジュール型生産設備 DLFn 旋盤モジュール完成
2014年	中国・昆山工場操業開始
2016年	パブリックストックシステム Quist完成
	移乗サポートロボット Hug完成
2017年	小型多関節ロボット SmartWing完成
2018年	「富士機械製造株式会社」から「株式会社FUJI」へ社名変更
	ファスフォードテクノロジ社を完全子会社化

# 拠点



# ロボットソリューション事業



はんだ  
印刷

Die

SMD

挿入部品



GPX-C

NXT-H

NXT III  
Fuji Scalable Placement Platform

AIMEX III  
AIMEX III C

sFAB-O

sFAB-D

軽作業ロボット

プラズマ処理装置

宅配ロッカーシステム

介護ロボット



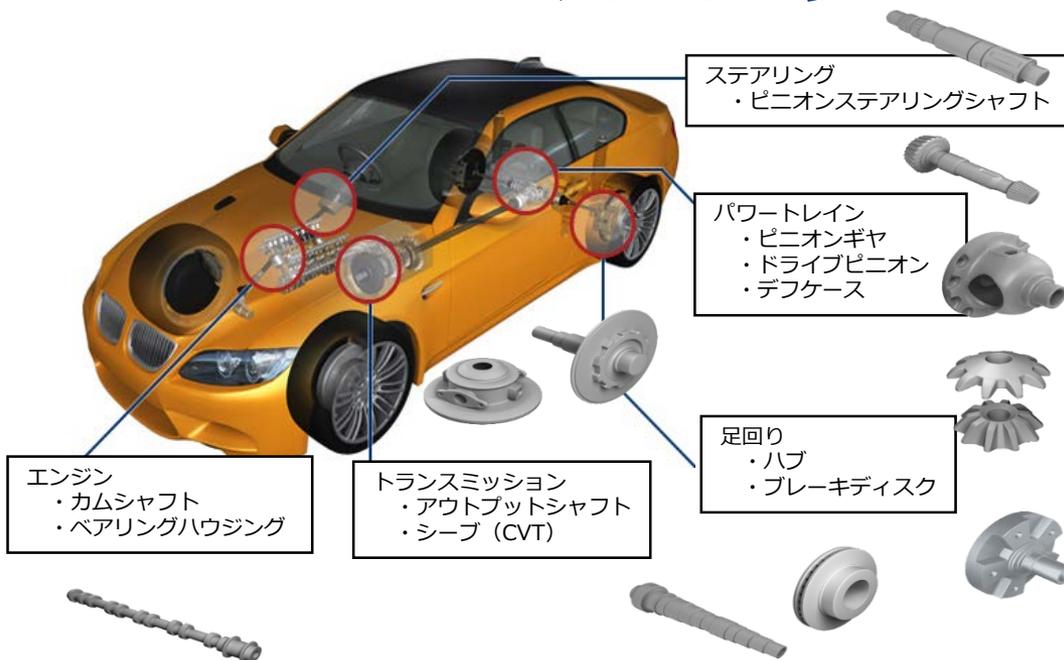
SmartWing  
**FUJI**  
innovative spirit

Tough Plasma

Quist

Hu9  
移乗サポートロボット

# マシンツール事業



正面2スピンドル旋盤  
**CSシリーズ**



モジュール型生産設備

**DLFN**



横型NC旋盤

**TNシリーズ**



# 第1四半期決算の概要

注：2018年8月に株式を取得し子会社としたファスフォードテクノロジー株式会社を2019年3月期第3四半期より連結業績に含めております。

# 第1四半期 決算のポイント

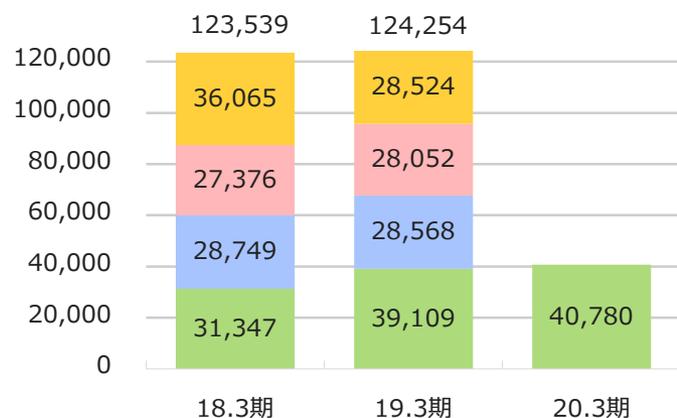
- 世界経済の先行きの不透明感から、一部の顧客は設備投資に慎重。価格競争の激化による売価下落も。
- ロボットソリューション事業  
スマートフォン、5Gインフラ向けの需要が底堅く推移する一方、一部の地域あるいは業種において売上が伸び悩み。
- マシンツール事業  
北米市場では設備投資に慎重な姿勢が見られたもの、日本国内、東南アジアでの販売が伸長。

# 2020年3月期 第1四半期 業績

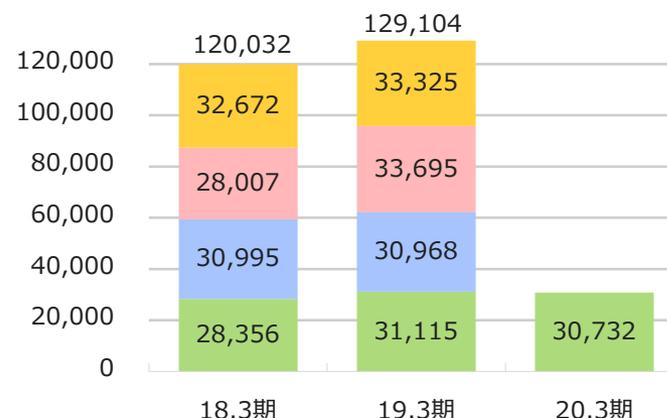
(百万円)

	19.3期 Q1 実績	20.3期 Q1 実績	対前年同期	
			額	率
受注高	39,109	40,780	+1,671	+4.3%
売上高	31,115	30,732	▲382	▲1.2%
営業利益	5,775	4,841	▲934	▲16.2%
経常利益	6,083	4,896	▲1,187	▲19.5%
当期純利益	4,330	4,053	▲276	▲6.4%

受注高



売上高



# 営業利益増減分析



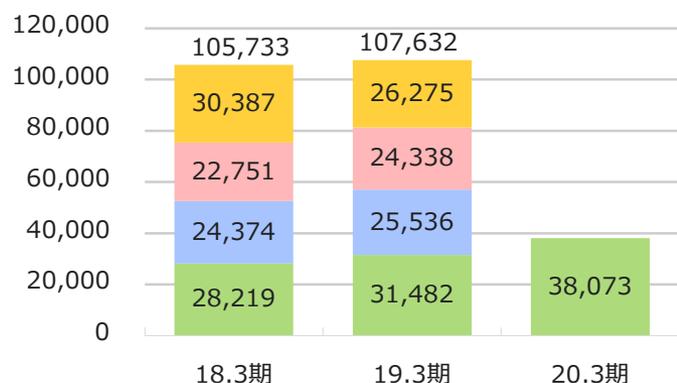
# ロボットソリューション事業 業績

(百万円)

	19.3期 Q1 実績	20.3期 Q1 実績	対前年同期	
			額	率
受注高	31,482	38,073	+6,591	+20.9%
売上高	27,855	26,818	▲1,036	▲3.7%
営業利益	6,847	5,419	▲1,427	▲20.9%
受注残高	25,213	28,937	+3,724	+14.8%

注：2019年3月期第1四半期受注残高につきましては、ファスフォードテクノロジー株式会社の連結開始時の受注残高を遡及修正して含めております。

受注高

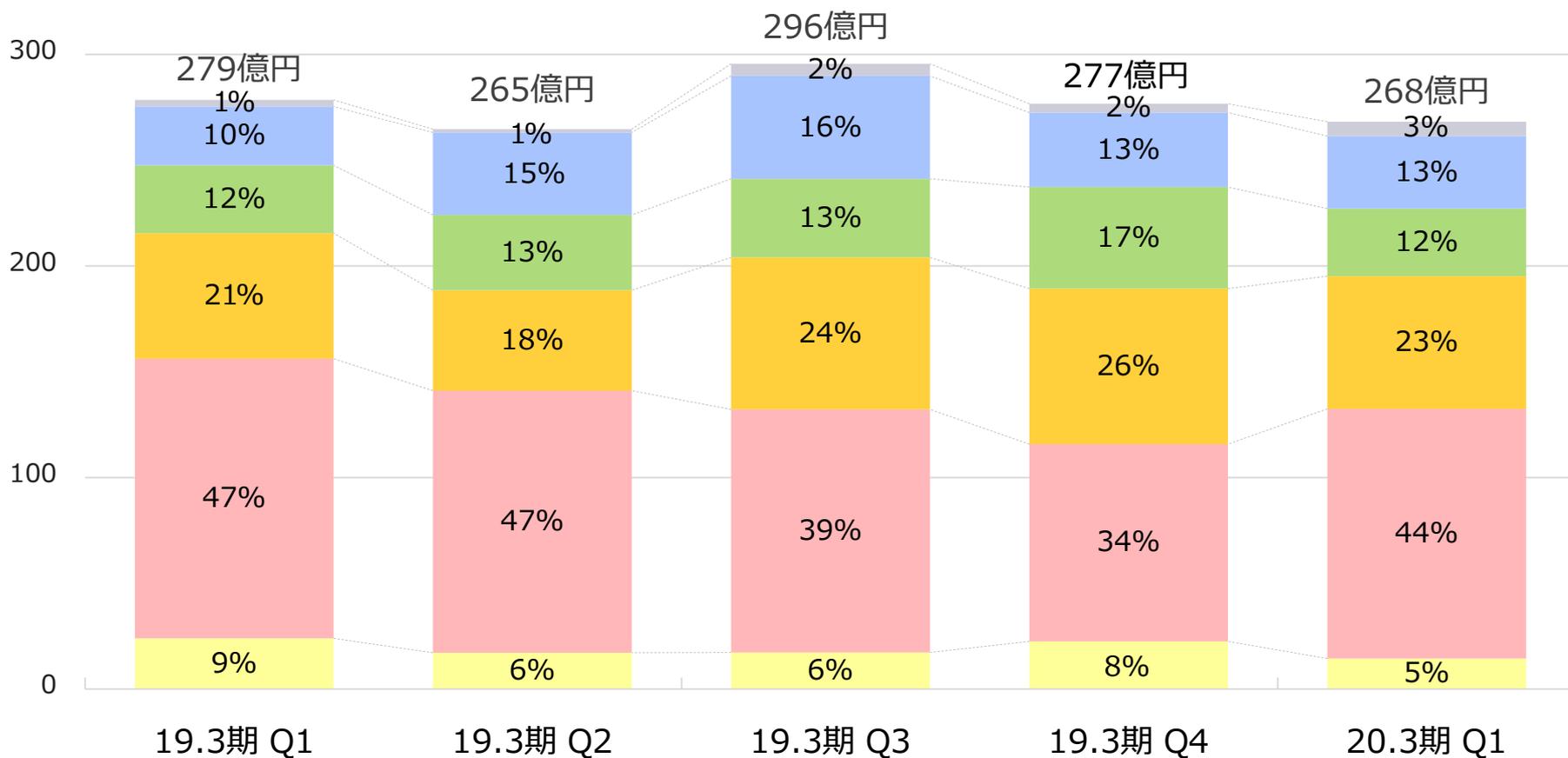


売上高



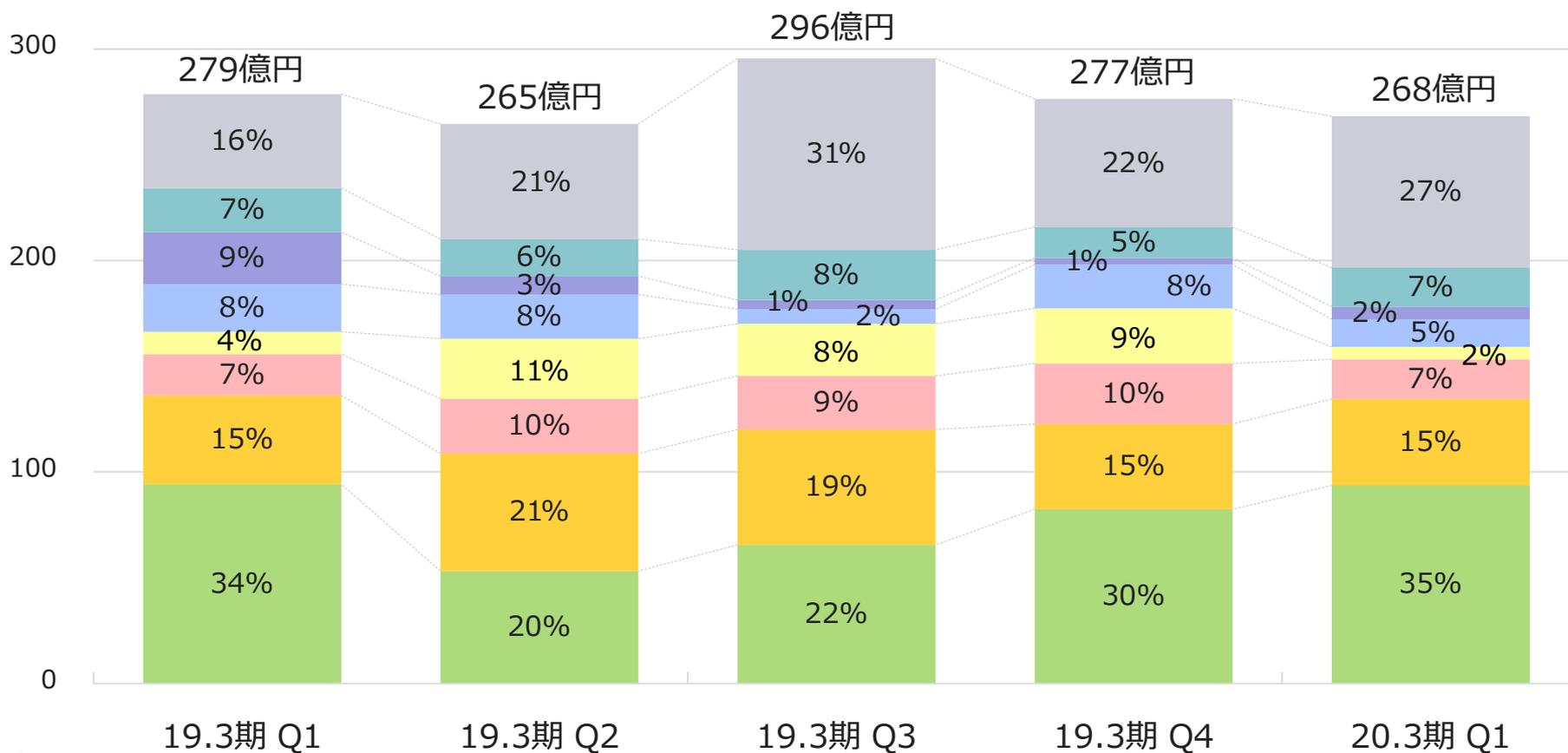
# ロボットソリューション事業 地域別売上高

国内 中国 中国除くアジア ヨーロッパ 北アメリカ その他



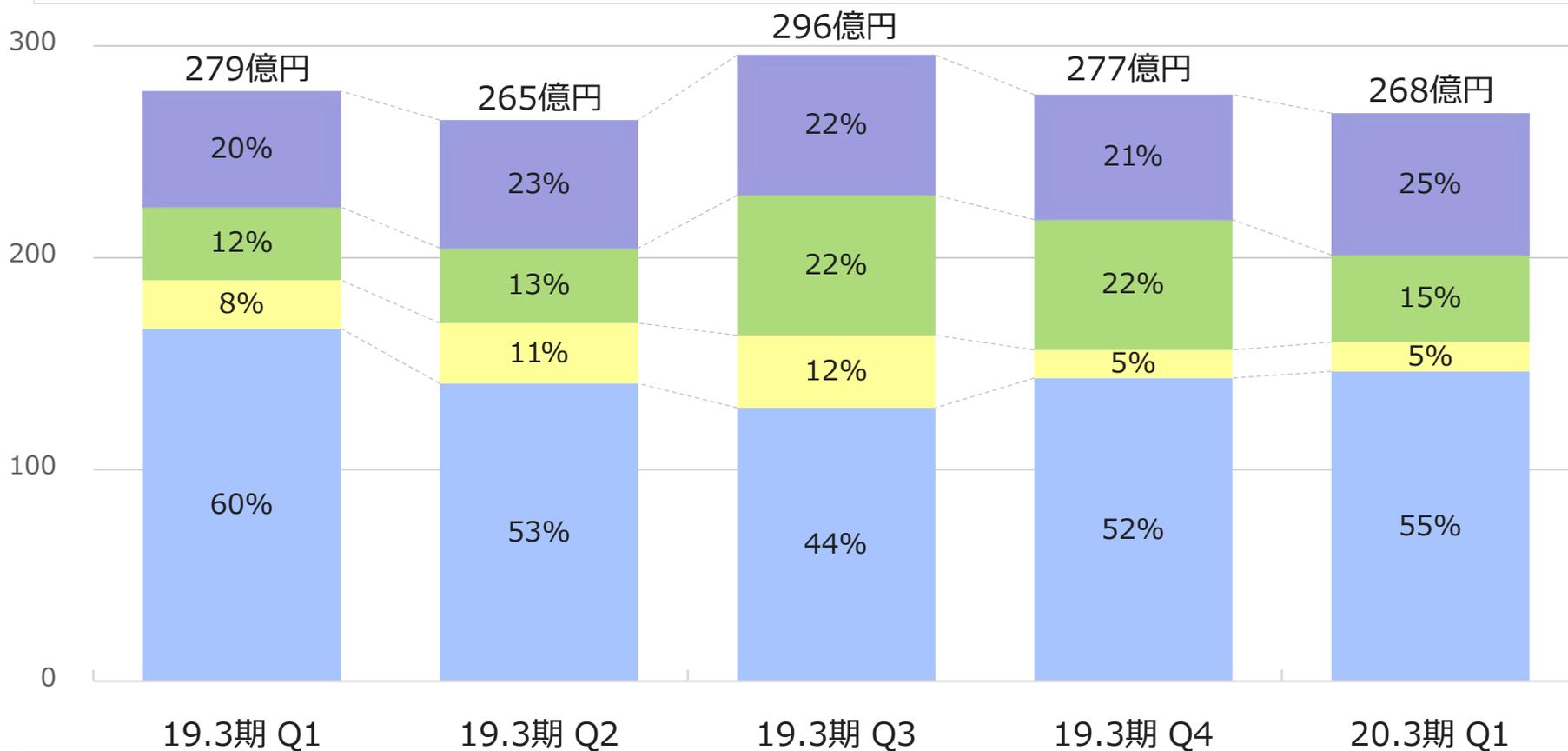
# ロボットソリューション事業 業種別売上高

■ 通信 ■ 車載 ■ コンピュータ ■ サーバー ■ 家電 ■ モジュール部品 ■ 産業機械 ■ その他



# ロボットソリューション事業 機種別売上高

■ 高速装着機 (NXTシリーズ)     
 ■ 汎用装着機 (AIMEXシリーズ)     
 ■ その他装置     
 ■ 部品・改造・修理

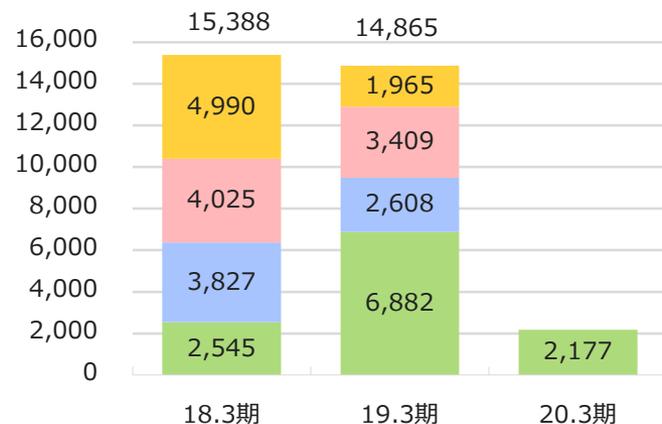


# マシンツール事業 業績

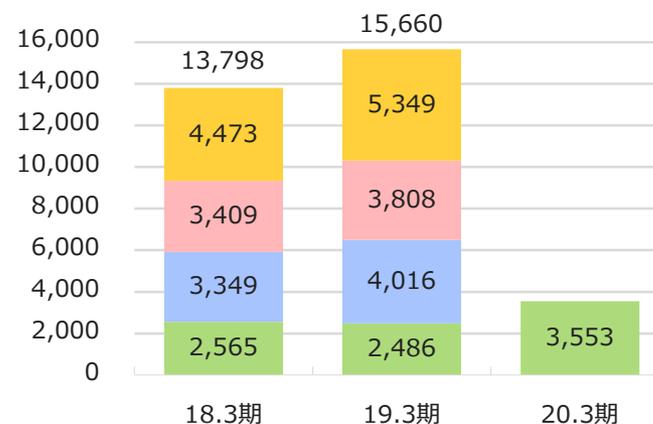
(百万円)

	19.3期 Q1 実績	20.3期 Q1 実績	対前年同期	
			額	率
受注高	6,882	2,177	▲4,704	▲68.4%
売上高	2,486	3,553	+1,067	+42.9%
営業利益	166	197	+31	+18.7%
受注残高	13,641	7,073	▲6,567	▲48.1%

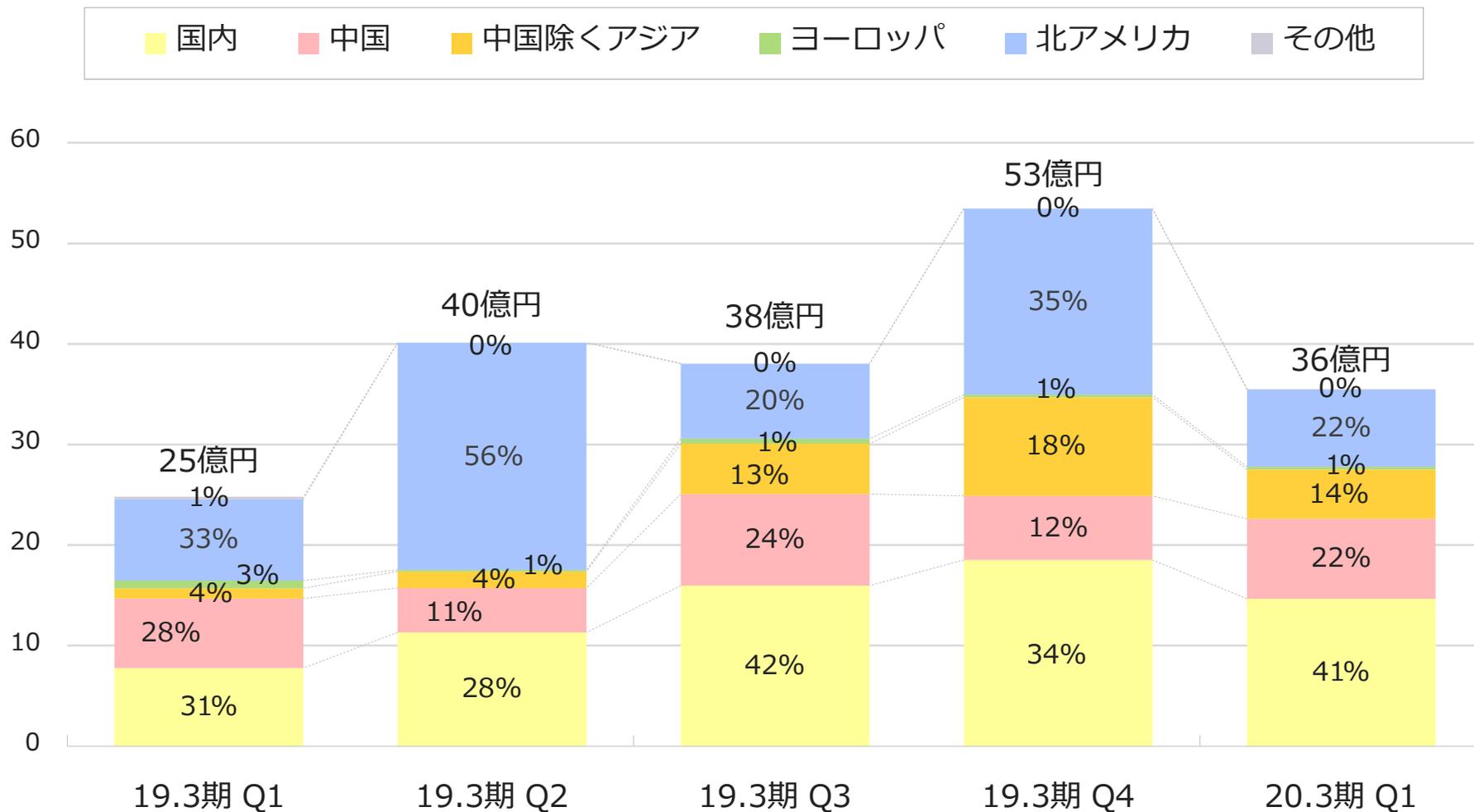
受注高



売上高

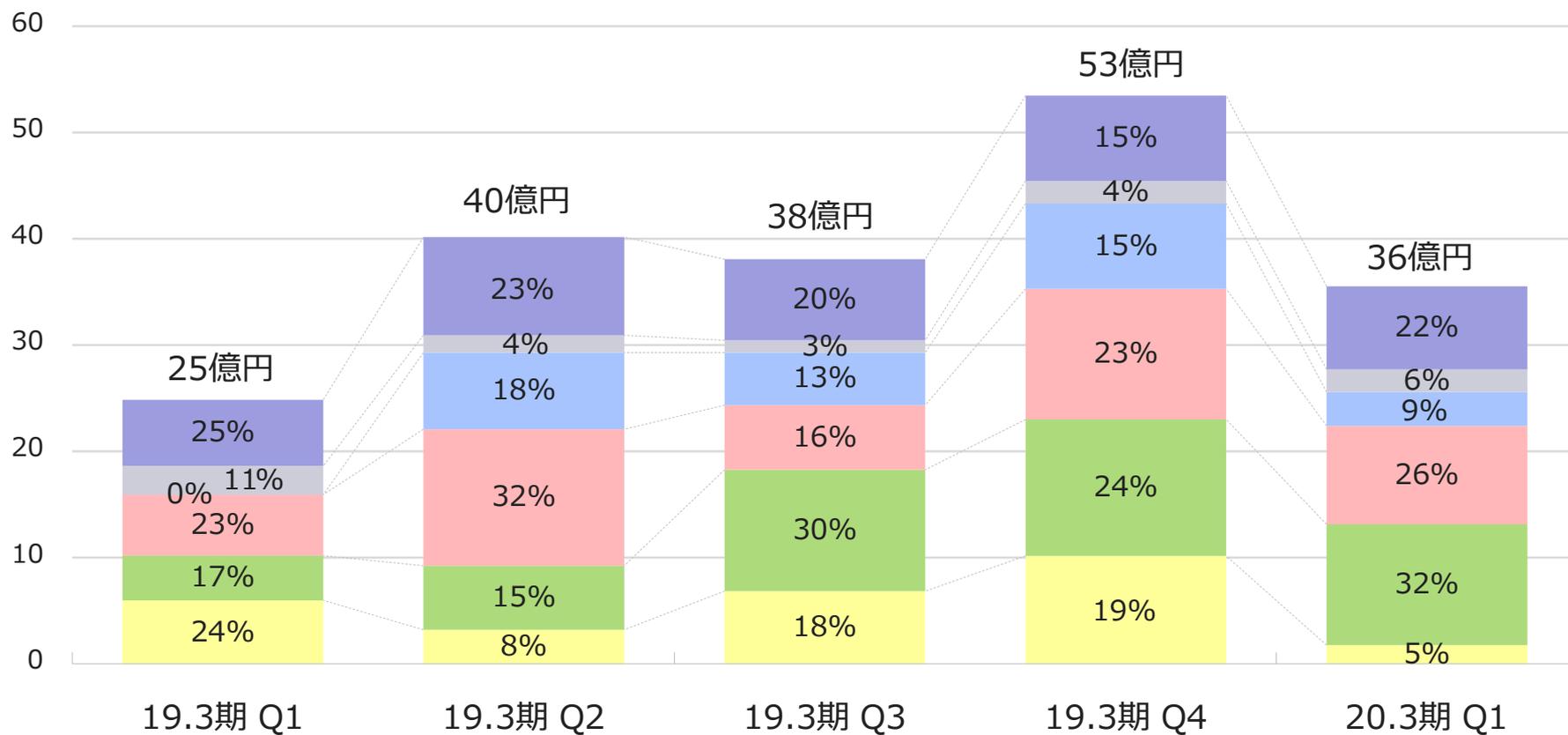


# マシンツール事業 地域別売上高



# マシンツール事業 機種別売上高

■ ANシリーズ
 ■ TNシリーズ
 ■ CSシリーズ
 ■ DLFn
 ■ その他
 ■ 部品・改造・修理



# 2020年3月期 業績予想

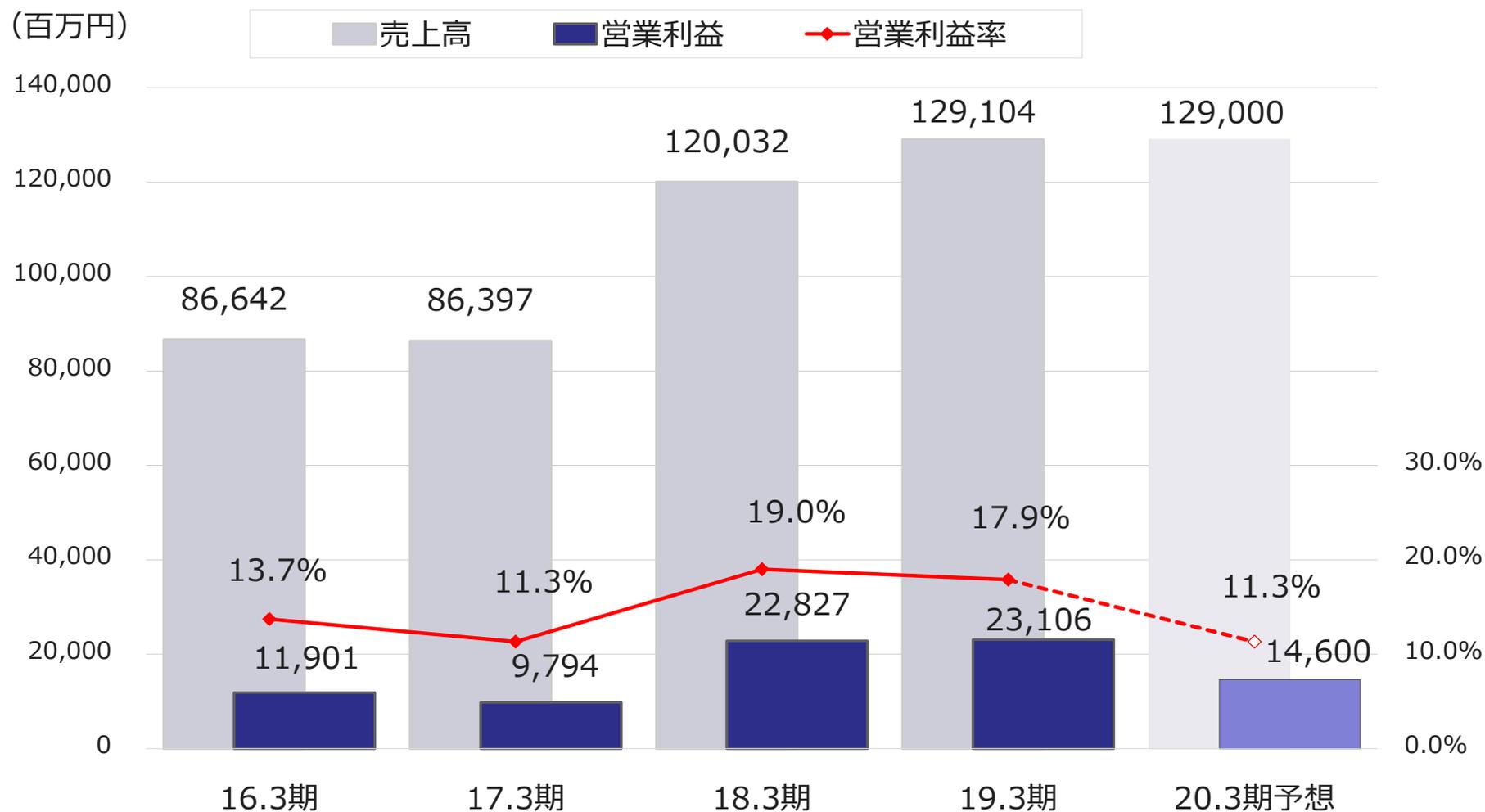
# 連結業績予想

・ 2019年5月14日公表の直近予想からの変更あり

(百万円)

	19.3期 通期実績	20.3期通期予想				
		2019年5月14日 公表予想	今回予想	対前年同期		対従来予想
				額	率	額
受注高	124,254	126,000	129,000	+4,745	+3.8%	+3,000
売上高	129,104	126,000	129,000	▲104	▲0.1%	+3,000
営業利益	23,106	16,700	14,600	▲8,506	▲36.8%	▲2,100
営業利益率	17.9%	13.3%	11.3%	-	-	-
経常利益	23,454	17,500	15,200	▲8,254	▲35.2%	▲2,300
当期純利益	16,855	13,000	11,200	▲5,655	▲33.6%	▲1,800

# 連結売上高・営業利益



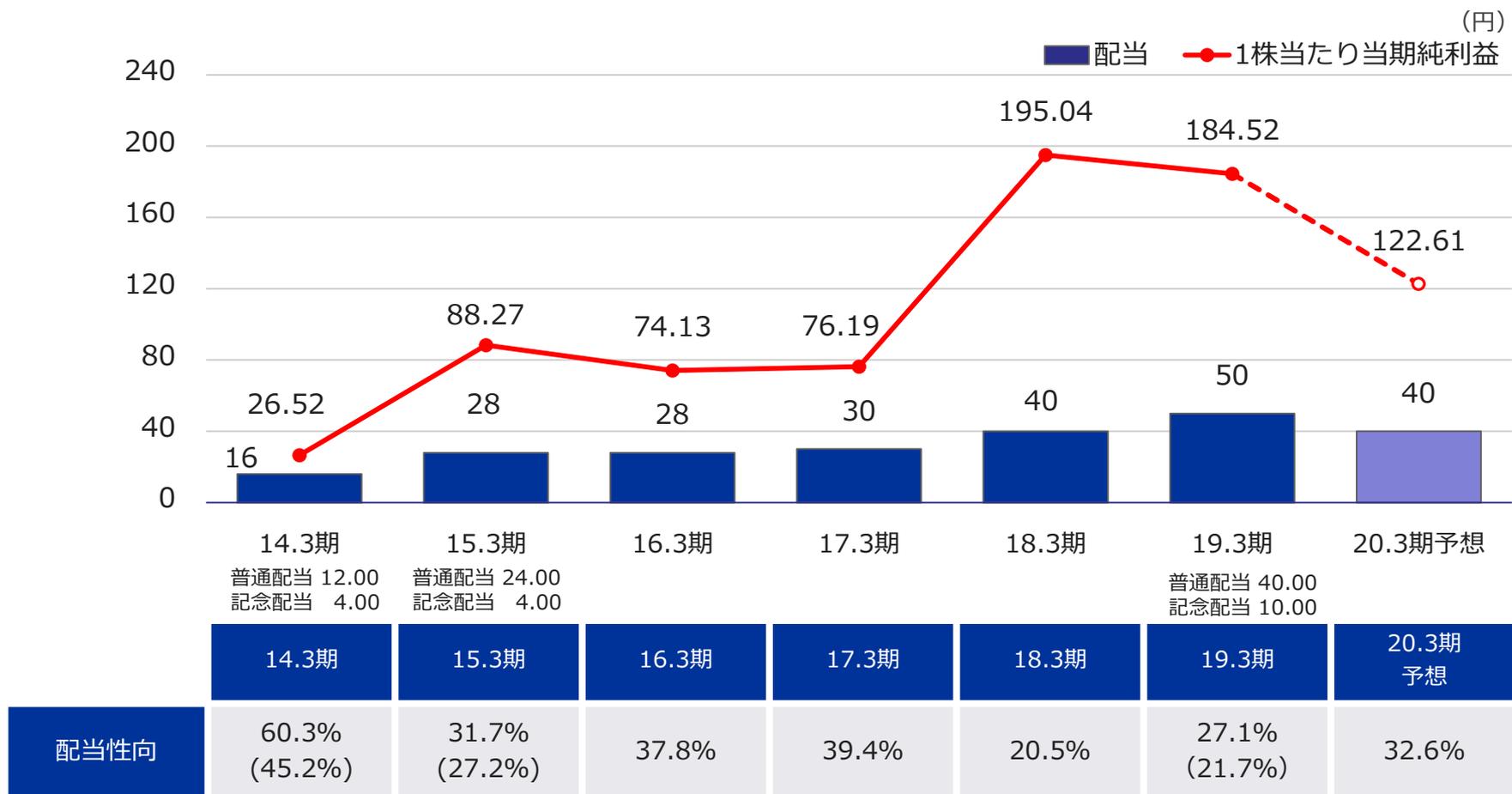
# セグメント受注・売上予想

・ 2019年5月14日公表の直近予想からの変更あり

(百万円)

		19.3期 通期実績	20.3期通期予想				
			2019年5月14日 公表予想	今回予想	対前年同期		対従来予想
					額	率	
RS 事業	受注高	107,632	109,500	114,500	+6,867	+6.4%	+5,000
	売上高	111,536	109,500	113,500	+1,963	+1.8%	+4,000
	受注残	17,682	17,682	18,682	+1,000	+5.7%	+1,000
MT 事業	受注高	14,865	14,000	12,000	▲2,865	▲19.3%	▲2,000
	売上高	15,660	14,000	13,000	▲2,660	▲17.0%	▲1,000
	受注残	8,449	8,449	7,449	▲1,000	▲11.8%	▲1,000
その他 事業	受注高	1,756	2,500	2,500	+743	+42.4%	±0
	売上高	1,907	2,500	2,500	+592	+31.0%	±0
	受注残	170	170	170	±0	-	±0

# 1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



( ) 普通配当の配当性向

# 成長戦略

## ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発  
を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・  
ロボットシステム等  
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



電子部品実装ロボット  
(ロボティックマウンター)



半導体製造装置

工作機械

(ロボット搬送システム)



IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

生産性

コアテクノロジー

解析技術

モーション  
コントロール  
技術

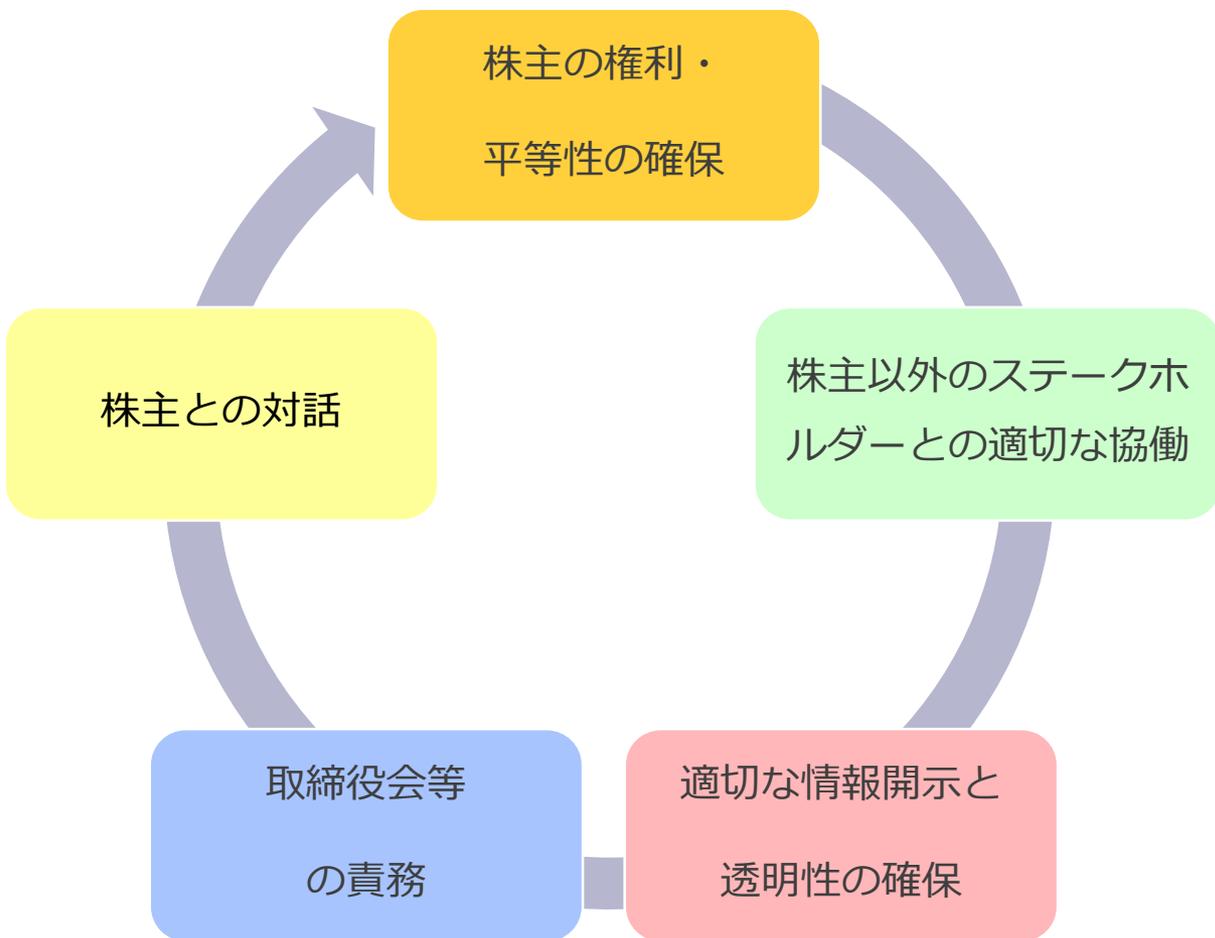
ビジョン  
技術

効率的な資金活用による迅速な施策実現

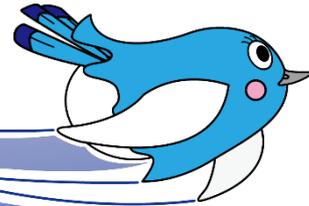
- ・販売力強化 ・研究開発 ・M&A
- ・技術提携 ・モノづくりアライアンス ・資本参加

# コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、  
企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
  - ・ 英文開示の充実
  - ・ 招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
  - ・ 女性の活用を含む社内の多様性の確保
  - ・ 取引先・地域社会との絆
  - ・ 生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
  - ・ コーポレートガバナンス報告書等への開示
  - ・ ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
  - ・ 取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
  - ・ 独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
  - ・ IR説明会開催、SR面談の随時対応



# FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓くFUJI

## 【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

株式会社 F U J I